

JAいけだ CREATION



今月号の表紙写真は、7月21～22日に行われた女性部道内研修旅行で、札幌の「白い恋人パーク」を訪れた際の集合写真です。詳細は次号に掲載いたします。

CONTENTS

- * 新規就農者激励状伝達式
- * 平成27年度役員研修旅行報告書
- * しょくいくつうしん
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * 金融共済課より

- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 農家の嫁さん
- * 今月の一枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2015.

8
AUGUST

No.068

新規就農者激励状伝達式

～今年度は6名が就農～

平成27年度の新規就農者に対する激励状伝達式が、6月4日（木）に行われました。

これは、北海道の農業を・農村を担う一員として、農業に意欲を持って取り組むことを期待し、JAグループ北海道5連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と、当JAからお祝いを贈呈しているものです。

今年度は、千代田地区・納大輔さん、東台地区・佐藤幸也さん、川合2地区・鈴木亘さん、利別地区・原敦志さん、様舞地区・増野幹也さん、千代田地区・守内駿さん（五十音順）の6名の自宅に、鈴木組合長が訪れ激励状と記念品を贈りました。

- ① 営農形態
- ② 生年月日・年齢
- ③ 趣味
- ④ 就農を決めた理由
- ⑤ 今後の目標



千代田地区

おさめ
納

だい
大

すけ
輔

さん

- ① 酪農・畜産
- ② 平成8年4月23日 19歳
- ③ youtube鑑賞
- ④ 小さい頃から継ぐと決めていたから
- ⑤ 優秀な経営者を目指す

東台地区 **佐藤幸也さん**

- ① 畑作
- ② 平成7年12月22日 19歳
- ③ ドライブ
- ④ 興味があり自分で作ってみたかったから
- ⑤ 早く仕事を覚えて頑張りたい





川合2地区 すず 木 わたる
鈴 木 巨 さん

- ①畑作・畜産
- ②平成7年4月25日 20歳
- ③映画・ビデオ鑑賞
- ④家族で仕事が出来るから
- ⑤一人前になる

利別地区 はら あつ 敦 志 さん

- ①畑作・建設機械修理
- ②昭和55年2月24日 35歳
- ③バイク・車・RC・スキー・アウトドア・PG
- ④機械修理を学び生計を立ててきたが、父の病気をきっかけに農業を継承することを決断した
- ⑤周囲の環境に配慮した営農をし、「今日より明日を良くする」をモットーに努力したい



様舞地区 ます の みき 増 野 幹 や さん

- ①畑作
- ②平成6年12月25日 20歳
- ③読書・卓球
- ④小さい頃から仕事を手伝う内に農業に興味を持ち、実際に就農して農業に関わりたいと思ったから
- ⑤まだ就農したばかりで仕事の流れを把握出来ていないので、作業をしながら一年の仕事の流れを覚える事と、道具や農薬・作業機械の使い方とメンテナンス、管理等を早く覚えるようにしたい

千代田地区 もり 守 内 駿 さん

- ①畑作
- ②平成6年10月5日 20歳
- ③サッカー
- ④自家の農作業を手伝う中で就農への意志が芽生え始め、農業系の学校に進み確信に至った
- ⑤いち早く自家の仕事を覚え、今は親の支えとなっていきたい。将来的には自家の経営を発展させ、立派な農業経営者になりたい



平成
27年度

役員研修旅行報告書

監事 久保恵昭



本年度の役員研修旅行は、6月10日から15日までの6日間、タイ経由にてシンガポールを役員13名にて研修して参りましたので、ご報告いたします。

コクファ テクノロジーファーム

シンガポール市内より車で北西に30分程のところにある、シンガポール最大規模の農場面積と設備を誇る「コクファテクノロジーファーム」を視察いたしました。



コクファテクノロジーファームにて

1945年に創業、家族経営で1ヘクタールから始まり現在は10ヘクタールまで拡張されております。

この農場ではほうれん草、空心菜など葉菜類を生産しています。日本のように四季の変化はなく、安定した気候風土を活かしてハウス

要素をブレンディし、育苗セルトレイに播種、播種後12日間育苗ハウスで育苗し、苗は1つずつ手作業で移植、約40日間で収穫されます。

労働力については、現地人ではなく近隣のミャンマーを中心としています。ミャンマー人は、

眞面目で農作業にも慣れており2~5年ほどこの農場で働くそうです。その中で

も特に妻帯者は意識が高く、さらによく働くようです。

収穫後は、いち早く冷やすため真空予冷装置で20~24℃に予冷。冷蔵庫に貯蔵するより早く低温化でき、効率化・省力化が図られています。出荷先は市場とATVC(現地の生協)へ出荷しています。

長い歴史により、気候や栽培方法を熟知・研究した上、条件に適った農業を続けていることに感心致しました。特に葉物野菜は鮮度がいいのちであり、温度管理における工夫にも感心致しました。



コクファテクノロジーファーム ハウス見学

JA全農シンガポール駐在事務所にて



J A 全農 シンガポール 駐在事務所

営業展開、農畜産物の輸出拡大に取り組まれています。

現地駐在事務所米田所

JAグループの経済事業連合会である、JA全農シンガポール事務所を訪問いたしました。この事務所は、東南アジア経済圏の中心であるシンガポールへ平成25年11月に設置され、今後も富裕層の増加が見込まれる当地で、牛肉の販売拡大を足がかりに、周辺各国への

長の説明により、シンガポールの概況、農業、日本産農産物の位置づけなどについて研修いたしました。人口は540万人、多人種・多宗教国家で人口密度は1キロ平方メートル当たり7540人と高い度合いとなっています。アジア有数の豊かな経済国であり、家計においては外食比率が64パーセントと高い状態です（日本34パーセント）。

2倍以上の価格であり、需要はやはり富裕層とのことでした。また、外食の比率が高く特に日本食が近年ブームとなり、日本食料理店も約900軒も存在し外食の柱となっているようです。米田所長のお話では、シンガポールの経済はまだ成長が見込まれ、また日本の農畜産物に対する信頼が厚いとのことでありました。供給する生産者として期待を裏切

り、家計においては外食比率が64パーセントと高い状態です（日本34パーセント）。食料は周辺国からの輸入に依存しており、食料自給率は1割未満だそうです。日本産農産物は他国産に比べて

米田所長からの説明



らない質の高い作物を継続的に供給することが大事だと実感いたしました。

最後に、今回の研修旅行を終えまして東南アジアにおける、農畜産物を含めあらゆる日本の製品やサービスが大きな信用を得ている

こと、現地の暮らしに役立てられていねことに日本人として誇りを感じました。国際情勢の変化に対応し、現状に満足せず創意工夫を行なながら日本の農業を発展させて行こうと改めて考えさせられました。



タイ王宮にて



6月14日(日) 晴 第2回目作業



第2回目作業を終えて

6月14日、今年度2回目の青年部食育事業が行われました。カボチャ、サツマイモの定植、除草作業がこの日の主な作業でした。自分の身長より大きいホガマを使った除草作業は子供たちにとって大変だったと思いますが、青年部員や親御さんの力を借り上手に行っていました。当日は気温が高い中での作業になりましたが、暑さなど気にしない様子で真剣にそして楽しく作業しているように見えました。子供たちの元気に作業する姿を見て自分たちもパワーをもらった気がしました。

普段の食事で何気なく食べている野菜、作物でも実際に畑で育つ過程はなかなか想像できないと思います。1年間の作業を通して農作物のことを知り、それをつくる楽しさ、おもしろさを感じてもらえたなら嬉しいです。また、食育事業をきっかけに「食」について考える時間が増えていくことを期待しています。食育事業での経験が子供たちをより豊かに成長させてくれることを願っています。

(記事・青年部 八田祐基)

農産課

にんにく収穫始まる

6月25日から、平成26年9月に植付けしたにんにくの収穫が青山地区から開始されました。

当JAの生産者戸数は11戸で作付面積は、販売圃・種子増殖圃合わせて121aです。収穫は部会所有の収穫機で行われました。本年度は、積雪もあり越冬状態も良く順調に生育しておりましたが、5月・6月の干ばつの影響もあり肥大にバラツキが多い作柄となりました。

また、本年度からはJA十勝清水町と連携した取り組みを行います。収穫されたにんにくは、JA十勝清水町にんにく施設に搬入し、乾燥・貯蔵・加工を行い、販売します。



にんにく収穫の様子

収穫直前のにんにく圃場



総収穫量3,920kg（乾燥前重量）で平均反収が710kgの実績になっております。今後は、9月下旬からの植付けに向けて、更新種子の準備、圃場管理作業があり、本年の作付予定面積は、304aとなっております。

今後の植付け作業等は、隨時広報や青果物説明会等で紹介して参りますので、にんにく栽培に興味をお持ちの方は農産課までご連絡ください。

（記事・農産部農産課 鈴木耕一郎）

施設課

今年も豊穰と安全操業を願って!!! ～豊穰と安全操業祈願祭～

去る7月13日、農産センターH14年荷受ホッパー前にて、役職員と麦部会原部会長、並びに野澤副部会長によって「豊穰と安全操業祈願祭」が執り行われました。組合長をはじめ総勢30名にて農産物の豊穰と、収穫・調製の安全操業を祈願致しました。農産センターでは安全操業を実施するに当たり、講習会の開催や安全スローガンの垂れ幕を掲げ、5S運動にも重点を置き、ゼロ災害を継続すべく日々努力をしております。

今後、農産物の受入が最盛期となってまいりますので、搬入される組合員の皆様も構内の安全走行・安全作業に御協力をお願ひ致します。



祈願祭の様子

（記事・農産部施設課長 遠藤泰志）

玉葱部会

玉葱部会道内視察研修

玉葱部会では、6月22日（月）～23日（火）にかけて道内視察研修を開催致しました。

本研修は収量、品質の向上を目的に毎年開催しており、本年は足寄町生産者様、長沼町にあるタキイ種苗株式会社、ヤンマー農業機械ソリューションセンター、JAふらのを視察して参りました。

1日目は、足寄町生産者様の圃場を視察させて頂きました。移植・直播ともに生育が良く、特に直播では播種機を改造し、種下に肥料が播けるように工夫を行っておりました。さらに、品質アップを目的として酵素を取り入れており、良い生育に繋がっていると説明がありました。

次にタキイ種苗株式会社では、各品種の特性、池田町の気象条件から見る生育のポイントなどのお話があり、今後に活かせる内容となりました。

2日目は、ヤンマーアグリソリューションセンターを視察し、最新のトラクターの組立ての見学、試乗を行いました。

最後にJAふらのでは、取扱品目の中で玉葱が一番の取扱になっており、玉葱主体のJAとなっております。本年度の生育状況は、適度に降雨があり順調な生育をしておりました。職員の方から概要の説明の後、生産者圃場での意見交換を行いました。

今回の視察研修は、直播栽培での工夫や各品種の特性等がわかり、これから玉葱栽培に活かせる内容になったと思います。



ヤンマーアグリソリューションセンターにて

参加して頂いた部会員およびご家族の皆様のご協力により無事に視察研修を終えることができました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。（記事・農産部農産課 鈴木耕一郎）



年金友の会

年金友の会

第36回パークゴルフ大会

年金友の会では、6月10日に清見が丘パークゴルフ場において、第36回パークゴルフ大会を開催しました。大会前日のお昼頃から当日朝にかけて降雨があり、大会ができるかどうか心配されましたが、参加者の願いが通じ大会が始まる頃には汗ばむ陽気となりました。

今大会には、90歳以上の方1名を含め男女合わせて38名の参加がありました。参加者の中にはパークゴルフが初めてという方もいましたが、周りの方々の協力もあり、全員がホールアウトすることができ、会員相互の親睦が図られた有意義な大会となりました。

参加された皆様大変お疲れ様でした。成績は次の通りですが、優勝された石川さんと、丹羽久子さんは共に2大会連続の優勝となりました。

【男性の部】 優勝=石川 剛さん 準優勝=丹羽幹夫さん 第3位=丹羽正彦さん

【女性の部】 優勝=丹羽久子さん 準優勝=吉田繁子さん 第3位=横田規子さん

(記事・営農部営農課 高山信雄)



ケーズファーム・梶さんからのお話



青年部

青年部夏期研修

7月8日(水)、青年部夏期研修会が行われました。今年度は「6次産業化」に視点を当て、6次産業化を実践している「十勝野フロマージュ」と「ケーズファーム」へ視察を行いました。

十勝野フロマージュでは主にチーズの製作過程の説明やカマンベールチーズとバターの試食会がありました。

ケーズファームでは代表の梶宗徳さんから、自身が6次産業化を目指すことになったきっかけや6次産業化をしてからの話など、6次産業化について様々なお話を聞くことが出来ました。話を聞いて自分が特に参考になった部分は「6次産業化は農業が根底にあり、農業を疎かにして6次産業化をすることは出来ない」という点です。幾ら加工、販売をしようと考えていても6次産業化は農業が土台であるということを改めて感じました。

今回の夏期研修会では6次産業化について改めて考えるきっかけとなり、非常に有意義な研修でした。

(記事・青年部 増野幹也)

フレッシュミズ

明治十勝チーズ館を見学 ～フレッシュミズ1日研修～

6月16日（火）にフレッシュミズ1日研修を実施し、会員10名と子ども2名の計12名で、芽室町にある明治十勝チーズ館を見学しました。

チーズ館では、クイズを交えながらの工場見学が行われ、参加者は全問正解者にあたる賞品を目指して、説明を真剣に聞いていました。説明では、チーズが生まれたのは約6,000年前と言われており、種類は1,000種類以上あるそうです。明治では100年前からチーズを製造しており、工場見学終了後には商品の試食もさせて頂きました。

見学後には、音更町のフード・スタジアムで昼食をとり、池田町へ帰ってきました。

短い時間での研修でしたが、有意義な研修となりました。
(記事・営農部営農課 遠藤由梨)



商品の試食



見学の様子

畜産課

酪農・肉牛 若手後継者 草地現地 研修会開催



講師からの説明を真剣に聞く生産者

6月11日に畜産部による草地現地研修会を開催しました。

今回、新たな試みとして、草地圃場へ出て、酪農家・肉牛農家の若手後継者を対象に行い、日頃接することが少ない生産者同士が研修を通じ交流する機会を作ることも出来ました。

当日は十勝農協連・普及センター職員より、牧草の品種紹介、チモシーやシバムギ等を見極めるポイントの解説、圃場状態からの収穫適期の判断、植生状況を生産者に判定してもらう等、非常に充実した内容となりました。

質問も活発に飛び交い、一番草収穫前に草地への知識向上、良質な粗飼料生産へ向けて生産者の意識の高さを感じました。

今後も、自給飼料対策の取組を強化していくよう進めてまいります。

(記事・畜産部畜産課長 梶木和也)

株道央ファームでの施設見学



畜産課

肉牛生産組合 視察研修

6月10~11日、4名参加により、ホクレン本所（札幌市）および株道央ファーム（千歳市）を視察しました。

ホクレン本所では、飼料・食肉情勢など

貴重なお話しを拝聴し、意見交換を行いました。株道央ファームではホルスタイン肉牛850頭を飼養、育成から肥育まで行っており、施設見学により管理技術を学びました。規模・環境は異なりますが参考になる点が多く、有意義な研修となりました。

（記事・畜産部畜産課 長谷川彰大）

昔の木の実は 今の大木

「小さな事をいい加減にする者は、大きな事は決してできないものだ。大きな事を成し遂げるには、小さな事から怠らずひとつひとつみあげることが必要である。」

世の中の道として、小を積むことを尊ぶ。小を積んで大となすことは、人々は疑わずに努める。これこそ天下の方にすべきものだ。ところが自分には縁がないような遠い存在は、世間の人はとてもなるわけがないと思っている。けれどもこれは根本を考えないからである。

いま、大地主がここにいるとすると、これはにわかに大地主になつたものではない。始めは一鍬一鍬の小を積んで、ついに大地主となつたものだ。

また、橋げたのような巨材でも、そのはじめは小さな種から生じて、幾百年を経て、風雨を冒し寒暑をしのぎ、日夜精気を働かして、大きくなつたものだ。昔の種だけがこうなのではない、今の種でも同じことだ。とすれば、昔の種は今の大木、今の種は後世の大木である。人ははつきりとこの道理をわきまえ、大をねたむことなく、小を恥じず、時間をかけないで終わらせようと思わず、朝から晩までよく努めて、小を積み大きな功績をなしどけるべきである。

大きな事をしたないと思えば、小さな事を怠らず勤めるがよい。小が積つて大となるからだ。おろかな者は、大きな事を望んで小さな事を怠り、で

協同組合と報徳

No.11

夜話 積小為大

きもしない大きなことしようとして悩み、できやすい小さなことをしようとした。それゆえ、ついに大きな事を成しとげられない。それは、大は小を積んで大となることを知らないからだ。たとえば、百万石の米といつても粒が大きいわけではない。一万町歩の田を耕すのも、一鍬ずつ耕すことができる。千里の道も一歩ずつ歩いて行きつづくのだ。山を作るにも一盛りの土を重ねてゆくのだ。

（北海道報徳社 報徳生活読本より）



JAのがん共済が
がん克服を目指して
決してあきらめない「がん」治療をサポート



- 初期にみられる上皮内がんから脳腫瘍まですべてのがんを一生涯保障！
- 診断共済金と治療共済金で診断時から再発・長期治療までしっかり保障！
- 掛金は保障期間を通して一定なので安心です。また掛捨てではありません！



ご契約例 ■がん入院共済金日額:5,000円《充実型 先進医療保障あり》 ■共済掛金払込期間:終身

がんと診断されたとき (がん診断共済金)	1日目から無制限	入院のとき (がん入院共済金)	1日あたり 5,000円	がんで入院された場合に、がん入院共済金を1日目からお受取りになります。また、入院にかかる支払限度はありません。
何回でも	手術のとき (がん手術共済金)	入院中の手術の場合 ※1 20万円 または 5万円	がんの治療を目的とした手術を受けられた場合に、がん手術共済金をお受取りになります。同一部の手術を2回まで。	
何回でも	放射線治療のとき (がん放射線治療共済金)	1回あたり 10万円	がんの治療を目的とした放射線治療を受けられた場合に、がん放射線治療共済金をお受取りになります。	
何回でも	がん再発時や長期治療のとき (がん治療共済金)	1回あたり 50万円	がんにより内進医療(※4)を受けられた場合に、がん先進医療共済金をお受取りになります。 (通常1,000万円まで保障) ※4 内進医療とは、がんにより内進医療(※4)を受けられた場合に、がん先進医療共済金をお受取りになります。 (通常1,000万円まで保障)	
何回でも	先進医療を受けたとき (がん先進医療共済金)	1回あたり 先進医療にかかる 技術料に応じて定める額	がんにより内進医療(※4)を受けられた場合に、がん先進医療共済金をお受取りになります。 (通常1,000万円まで保障)	

一生涯保障

はじめの90日間は
がんの保障がありません

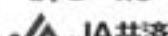
加入 共済掛金払込期間 加入時の掛金は一生上がりません → 終身払い

共済掛金(一部抜粋)		
加入年齢	男性	女性
0歳	1,432円	1,117円
10歳	1,637円	1,337円
20歳	2,032円	1,652円
30歳	2,577円	1,937円
40歳	3,222円	2,412円
50歳	4,422円	2,812円
60歳	5,952円	3,477円
70歳	7,747円	4,237円

* がん共済には、保険が充実した「充実型」のほか、共済掛金のねど組な「基本型」もご用意しております。詳細はJALにご相談ください。
* この共済の対象となる「がん」は、悪性新生物(主に肉腫や癌を含む)および転移癌です。詳細は「ご契約のこどり・約款」にてご確認ください。
* がんに関する責任(保険)の範囲は、ご契約日からその経を含めて90日を経過した日の翌日からとなります。これより前に悪性新生物または転移癌と診断確定された場合には、ご契約は無効とし、共済金はお受け払いいたしません。なお、共済掛金の払込限度についてはご契約日から算出しいたします。
※1 がん治療を終了し、公的医療保険制度に基づく医療診療報酬点数表により手術料・放射線治療料が算定されるものを指します。
※2 90日目に1回を限度とします。
※3 がん入院共済金が支払われることとなり入院中、がん手術共済金またはがん放射線治療共済金が支払われることとなる手術または放射線治療を行ないます。
※4 先進医療とは、公的医療保険制度の法典に基づく評価標準により選定標準第1項第1号に規定するものを受けます。原則は大病院の定める評価標準より選定標準第1項第1号に規定するものを受けます。なお、医療技術ごとに一定の評価基準が定められており、この評価基準に適合する医師または医療機関において行われた先進医療を実施します。がん先進医療共済金は、先進医療にかかる技術料が1万円以上の場合は技術料の10%、1万円未満の場合100%となります。先進医療保険のあるお医療機関ごとに算出いただき、お問い合わせください。

お問い合わせは JA共済はどなたでもご利用いただけます

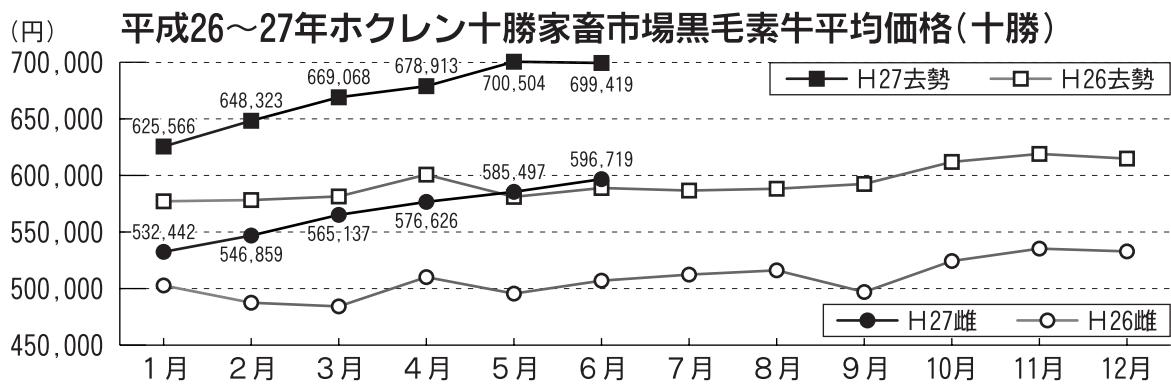
詳しくは お近くのJA 共済窓口 までお気軽にお問い合わせください。



この資料は概要を説明したものです。ご契約にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご質下下さい。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(付帯規約別紙)」および「ご契約のしりおり・約款」を必ずご覧ください。
TEL:010-66000000

畜産部通信

畜産部
畜産課



6月黒毛素牛出荷区分別成績

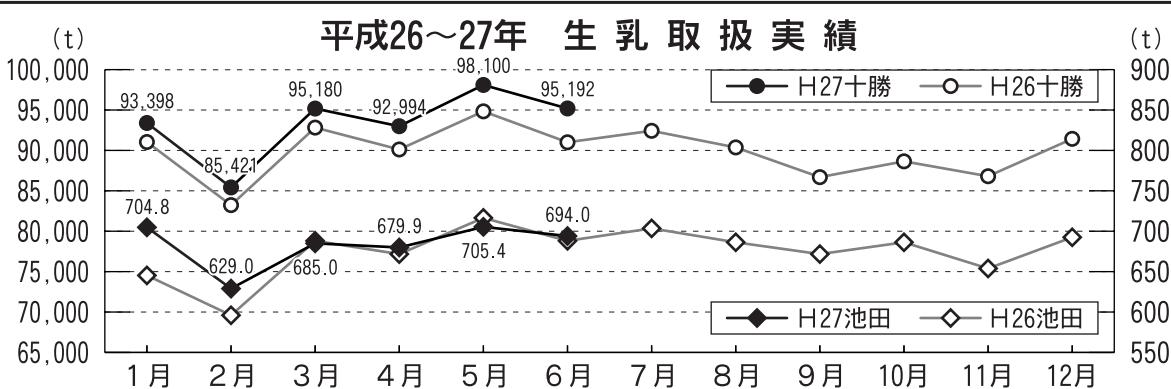
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	765	699,419	
	マニュアル参加牛	494	706,034	64.6
	マニュアル認定牛	82	748,506	16.6
池田	和牛素牛	62	712,470	
	マニュアル参加牛	58	710,789	93.5
	マニュアル認定牛	9	741,120	15.5
雌	和牛素牛	537	596,719	
	マニュアル参加牛	364	595,534	67.8
	マニュアル認定牛	29	676,974	8.0
池田	和牛素牛	43	611,079	
	マニュアル参加牛	38	615,969	88.4
	マニュアル認定牛	3	668,880	7.9

6月ホクレン十勝枝肉市場【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
13日	黒毛去勢	A - 5	2,155
		A - 4	2,082
		A - 3	1,942
	黒毛メス	A - 5	2,161
		A - 4	2,078
		A - 3	1,919
	F 1去勢	B - 3	1,386
		B - 2	1,164
		B - 3	1,360
	F 1メス	B - 2	1,355



平成26～27年 生乳取扱実績



6月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	455	346,134
9日	乳牛初妊	464	578,405
	乳牛経産	91	333,269

6月十勝中央家畜市場【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	93,859
F 1オス初生	214,793
F 1メス初生	164,328
廃用牛	215,777



青山1地区
みず かみ ひろ き
水上 裕 喜 さん
(36歳)

Vol.14

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は裕喜さん、妻・志穂さん、長女・璃乃ちゃん、次女・明咲ちゃん、母・ひで子さん、祖母・朝子さんの6人家族で畑作を営む。

帯広農業高校卒業後、3年ほど札幌の塗装会社で働いたのち就農。今年で就農15年目。

平成24年度に当JA青年部の部長を務めた。

就農当時は、トラクターなどのタイミングで防除を行なうなど運転はもううん、いました。

技術的な部分は、ほとんど教わる事が出来ず、教わったのは「感覚的な部分」だけだった。「その分、技術面は地域の人々にプランターや防除などを教えて貰つたり、助けて頂いて勉強させて貰

くなつた父・範憲さんが体調を崩し入院した事がありかけだつたそう。「でも、いつかは継ぐだろうなとは思っていました。」

範憲さんから農作業の技

を見ていて、凄い仕事だなと感じていて、自分には気が重いと思っていました。少し険しい顔をしながら話してくれたのは、水上裕喜さん。

帶広農業高校卒業後、札幌の塗装会社で3年ほど働いたのち就農。今年で15年目。

就農したきっかけは、亡くなつた父・範憲さんが体調を崩し入院した事がきっかけだつたそう。「でも、いつかは継ぐだろうなとは思っていました。」

「今は、毎年違う環境な話してくれたのは、水上裕喜さん。

見ていて、凄い仕事だなと感じていて、自分には気が重いと思っていました。少し険しい顔をしながら話してくれたのは、水上裕喜さん。

帶広農業高校卒業後、札幌の塗装会社で3年ほど働いたのち就農。今年で15年目。

就農したきっかけは、亡くなつた父・範憲さんが体調を崩し入院した事がきっかけだつたそう。「でも、いつかは継ぐだろうなとは思っていました。」

青年部活動では、平成24年度の部長を務めた。部長になる前は町内のことしか分からなかつたが、部長になって町外の青年部の話などを聞き、「うちの青年部も、もう少し思いつきやつても良いんじゃない」なども始めたばかりなので、良い単純にもつと稼がなきやいものをおもつくる事と収量を上げる事。また、母親があるんだと感じました。」

今後の目標としては、「とにかくや長いもなども始めたばかりなので、良いものをおもつくる事と収量を上げる事。また、母親があるんだと感じました。」

「これから料理好きで、得意があるんだと感じました。」

料理はカレーライスとい

うかなど、管理作業のスケジュールも分からなかつたが、地域の人々が作業している内容を見て行つたという。」「今は、毎年違う環境ながらも積み重ねてきたものがあるが、まだ知識や経験が足りないと感じている。」と裕喜さん。範憲さんが裕喜さんに言つていた、「農家は毎年1年生」という言葉は、今でも頭に残っている。

「今は、毎年違う環境ながらも積み重ねてきたものがあるが、まだ知識や経験が足りないと感じている。」と裕喜さん。範憲さんが裕喜さんに言つていた、「農家は毎年1年生」という言葉は、今でも頭に残っている。

「今は、毎年違う環境ながらも積み重ねてきたものがあるが、まだ知識や経験が足りないと感じている。」と裕喜さん。範憲さんが裕喜さんに言つていた、「農家は毎年1年生」という言葉は、今でも頭に残っている。

「今は、毎年違う環境ながらも積み重ねてきたものがあるが、まだ知識や経験が足りないと感じている。」と裕喜さん。範憲さんが裕喜さんに言つていた、「農家は毎年1年生」という言葉は、今でも頭に残っている。



農家の お嫁さん

14



昭栄地区

いち かわ よし み さん
市川好美さん
(32歳)

**家
族
構
成**

- 夫 浩吉さん (27歳)
- 長女 結菜ちゃん (1歳)
- 義父 法康さん (61歳)
- 義母 貴子さん (55歳)
- 義祖父 等さん (89歳)
- 義祖母 チヨさん (84歳)

今月は、いつも元気いっぱい！
笑顔が素敵な市川好美さんの紹介です！

Q 出身地は？

A 本別町です。

Q 池田町の印象は？

A 母が昭栄地区出身なので小さい頃から、池田町はよく遊びに来ていました。

Q 趣味・特技・マイブームは？

A 今、マンガ「キングダム」を読んでいます！後、こう見えて珠算7段もつています。見かけによらず…。

Q 旦那さんとの出逢いは？

A 共通の知人と遊んだ時にいた1人です。

Q 結婚する前は何をしていましたか？

A (株)柳月でネット通販や、冠婚葬祭を担当する部署で10年働いていました。

Q 農家のお嫁さんになる事に不安はありましたか？

A 特に無かったです。性格が良い意味で適当なので(笑)。

Q 農家に嫁いで良かった事は？

A 新鮮な野菜!!夜は静か…すぎかな(笑)。星がキレイです！

Q フレッシュユミズに入って活動してみて、どんな所が良いですか？

A 知らない人ばかりで不安でしたが、仲良くお話しできます！

Q これから抱負を一言！

A 宝くじを当てます！

(※結婚当初から言っています…)



理事会の動き

第5回 <平成27年7月22日>

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、資格変更について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 6月末仮決算について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 平成27年度組合員経営実績について
- (6) 農産物の生育状況について
- (7) 平成27年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について
- (8) 第28回JA北海道大会に関する組織討議について
- (9) 平成27年度採用職員の配置について

★ 議案 ★

- (1) 福利厚生規程別表1の一部変更について

★ 協議案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 地区懇談会までの日程について

人事の動き

平成27年6月26日付採用
購買部生活課(水産部門)

永橋 渉

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

今月の1枚



同じ世代同士、楽しいお喋り♪

今月の1枚は、7月13日(月)に行われた「フレッシュユミズ交流会」での1枚です。

この交流会は、フレッシュユミズの年間予定にはありませんが、同じ世代同士の交流の場になるよう、フレミズにまだ入っていない方や既に退部された方、JA高島の方をお呼びし、大人21名・子ども2名の参加で行われました。

参加者の中には初めて会う方もいらっしゃいましたが、楽しい雰囲気での交流会となりました。

この度、當農部當農課に配属となりました杉山淳史です。「創造8月号」より広報を担当させていただきます。今まで広報を担当していた号と一緒に、「E」とともに、皆様にわかりやすく、楽しんでいただけるような広報誌を目指して頑張りたいと思います。皆様には広報記事取材のためご協力をお願いすることが多々あると思いますが、より良い広報作りのため、どうぞよろしくお願いいたします。

(杉山)

編集後記